

留萌地区 教育経営研究会

- 1 目的 道小・道中と連携を図り、教育界を取り巻く今日的諸課題について、情報・意見交流を行うとともに、研修テーマに基づく学習会を通じて、会員の資質向上に努め、学校経営の充実安定を図る。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会 留萌管内小中学校長会
- 3 後援 苫前町教育委員会
- 4 期日 令和3年9月27日（月）
- 5 会場 苫前町中央公民館～ZOOMによるオンライン開催に変更
- 6 参加者 留萌管内小中学校長ほか31名
- 7 日程
10:00 開会式
10:20 全国・全道情勢報告 質疑応答
12:00 昼食
13:00 研修会～講話・質疑応答
15:30 閉会式

※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言延長により、会員も会同せず、完全オンラインによる開催に変更した。

開 会 式

○司会進行～組織部副部長 田 中 幸 治（小平町立小平中学校）

- 1 主催者挨拶 留萌管内小中学校長会 会長 長 尾 真（留萌市立留萌中学校）
- 2 諸連絡

※来賓挨拶は新型コロナウイルス感染拡大の影響により省略

全国・全道情勢説明 質疑応答

○運営～司会進行：組織部副部長 田 中 幸 治（小平町立小平中学校）
記 録：組織部 田 中 克 幸（留萌市立潮静小学校）

◇情勢報告

北海道小学校長会 経営部幹事 稲 上 敏 男 氏（札幌市立北都小学校）
北海道中学校長会 事務局次長 笹 川 恒 春 氏（札幌市立北栄中学校）
北海道中学校長会 対策部幹事 坂 本 征 人 氏（妹背牛町立妹背牛中学校）

◇留萌地区からの質問・要望事項等に対する回答

- ①中学校の免許外指導について
- ②定数関連法規の一部改正について
- ③G I G Aスクール構想の進捗状況及びI C T活用事例等について
- ④働き方改革の具体例等
- ⑤教職員のP C R検査の状況
- ⑥定年延長・60歳以上の期限付き採用等の状況について

【演題】 G I G Aスクール構想の具現化における校長のリーダーシップ

【講師】 新 保 元 康 様

NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム 理事長
文部科学省 I C T活用教育 アドバイザー
前札幌市立屯田小学校長



【講話の概要】

1 G I G Aスクール構想に対する基本的な考え方

- ◇イノベーションは人間の能力を大きくする。
- ◇イノベーションは人間のために使う。
- ◇I C Tは使わなければなにも起こらない。
- ◇小さな学校や町にこそI C Tを活用する価値がある。
- ◇挑戦した人や地域が生き残る時代である。

2 G I G Aの今～札幌市立稲穂小学校に学ぶ

- ◇時間がかかっても必ずデジタル化する～最初は混乱するが、じきに慣れ簡単になる。
- ◇日常が変わる～休み時間や業務などの日常が変わる。「トライアルとアイデア」が大事。
- ◇一斉授業や教科書はますます重要になる～日本の教科書は素晴らしいハブ・プラットフォームである。
- ◇格差が広がる可能性がある～G I G Aを積極的に前に進める学校とそうでない学校と大きな差が出て来る可能性がある。

3 I C T化と働き方改革

- ◇日本の遅れ、特にデジタル化については心配である。
- ◇人口減少はますます加速化し、特に生産年齢人口の減少は深刻である。
- ◇教育への期待は大きい、日本の先生は「千手観音」的に業務が膨大である。
- ◇業務の適切な分担やI C Tの活用により働き方改革を進め人材を確保する必要がある。

4 留萌の教育を魅力化する

- ◇子どもにも先生にも魅力的な学校をつくる！
- ◇リーダーもフォロワーもみんなで！
- ◇子ども・保護者・地域と語り合う！
- ◇I C Tは強力な武器（先生方がまず使う！）
- ◇まず、身近な世界とつながろう！
- ◇SNSを活用して先生の楽しさを発信！

G I G Aスクール構想やI C T活用に関わる内容だけではなく、留萌の未来について、また「良い授業」「良い仕事」のこれまでとこれからを具体的に示していただくなど、たくさんのご示唆をいただき、大変有意義な時間となった。

閉 会 式

○司会進行～組織部副部長 田 中 幸 治（小平町立小平中学校）

- 1 主催者挨拶 留萌管内小中学校長会 副会長 藤 田 智 哉（増毛町立増毛中学校）
- 2 諸連絡